

情報解禁日：本件は【12月14日(水)00:00】より情報解禁とさせていただきます。

鉄拳パラパラ漫画 年末の帰省前におすすめ！故人への想いを描いた“感動”の最新作 鉄拳×「つたえたい、心の手紙」第2弾動画が12月14日公開！

～体を酷使しながらも家族のために尽くす母へ、息子から感謝の気持ちが溢れる～

特設サイトURL：<http://www.kurashinotomo.jp/tegami/tekken/>



冠婚葬祭互助会の(株)くらしの友（社長：伴良二、東京都大田区西蒲田8-3-1）が毎年公募している、亡くなった大切な方へ宛てた「つたえたい、心の手紙」の作品を、お笑い芸人「鉄拳」がパラパラ漫画化し、動画として公開する「鉄拳×「つたえたい、心の手紙」」。この度、第1弾動画への反響が大きかったことを受け、第2弾の公開が決定いたしました。第2弾では、第8回募集（2015年実施）で銀賞を受賞した作品「母のサポーター」をパラパラ漫画化し、12月14日（水）よりWEBの特設サイトにて動画として公開します。

「つたえたい、心の手紙」は、亡くなった大切な人へ、いま伝えたい想いや生前に伝えられなかった言葉を「手紙」に記していただくものです。葬儀のお手伝いをする中で、数々の別れの場面に立ち会ってきた当社が、“亡くなった大切な方への想いを手紙として記すことで、悲しみを乗り越えるきっかけとなれば…”との想いから2008年より実施している取り組みで、全国から毎年1,000通を超える手紙が寄せられています。

■鉄拳作パラパラ漫画「母のサポーター」概要

パラパラ漫画「母のサポーター」は、母の死に直面した息子が、家族との思い出を振り返りながら母への感謝の気持ちに改めて気づくまでの姿を描いています。

[母の死後、実家の母が使っていた筆筒を覗き込んだ主人公の男性が、亡き母との思い出を辿っていきます。その中で夜遅くまで家事に明け暮れる姿や、身体が不自由になった父を懸命に介護する母の姿を目の当たりにします。そこにしまわれていた母が使っていた数えきれないサポーターを通し、体を酷使しながらも家族のために尽くしてきた母を想い、感謝の気持ちが込みあがってくる] という感動のエピソードです。

【映像尺】4分23秒【公開開始】12月14日(水)00:00

【特設サイト】<http://www.kurashinotomo.jp/tegami/tekken/>

【YouTube】<https://youtu.be/xphCp96YjLw>

※本動画素材をご所望の場合は本書二枚目「お問い合わせ先」よりお問い合わせください。

※原作が収録された「つたえたい、心の手紙」小冊子をご所望の場合は本書二枚目「お問い合わせ先」よりお問い合わせください。



原作者のお手紙を読ませてもらった時に大切な思い出の1シーン、1シーンが見えてきました。それを僕なりにパラパラ漫画で表現させていただきました。良い思い出となっていたいただければ幸いです。

皆様も是非ご覧ください。

“鉄拳作パラパラ漫画「母のサポーター」”の見どころ

①		<p>交通事故で母を亡くした男性が葬式に参列。</p>	⑦		<p>父の介護のため自分よりも大きな父を担いで階段を上り下りする母。助けようと声を掛けるも「大丈夫」と気丈に振る舞う。</p>
②		<p>葬式後実家で母の筆筒の引き出しをのぞいた瞬間、引き出しの中に引きこまれてしまう。</p>	⑧		<p>そんなある日、母は自転車で買い物に出かける。その日母が事故に巻き込まれて亡くなってしまふ日だと気付く男性。母を救うために必死で追いかける男性。</p>
③		<p>引き出しから出た先は、自身が赤ん坊の頃。父・母との思い出が思い起こされる。</p>	⑨		<p>母の死を悔やむ中、気づくと筆筒の前に。引き出しに入っていた母のサポーターを見て、気丈にふるまう母の姿が思い起こされる。</p>
④		<p>その後も引き出しを通じてタイムスリップで母との思い出を辿って行く。小学生時代には、母が父を見送った後、家事に追われる姿を目にする。</p>	⑩		<p>涙が止まらない男性の前で、突然引き出しが次々と開いて階段になっていく。</p>
⑤		<p>中学生時代には、父が寝た後も遅くまで洗い物など家事に明け暮れる母を目の当たりにする。</p>	⑪		<p>男性の泣き顔に不満そうな顔の母。それを見た男性は涙をこらえて階段の上にいる母を見る。</p>
⑥		<p>そんな中、男性が高校生の頃に父が倒れてしまう。</p>	⑫		<p>男性の笑顔を見てほっとし笑顔になる母。安心した様子で去っていく母のもとには、サポーターだけが形見として残る。</p>

※この作品の原作は、昨年実施された第8回「つたえたい、心の手紙」に寄せられた依田太様（55歳）のお手紙です。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】『くらしの友』PR事務局

※本動画素材をご所望の場合はお問い合わせください。

※原作が収録された「つたえたい、心の手紙」小冊子をご所望の場合はお問い合わせください。

TEL : 03-5459-5490 / FAX : 03-5459-5491 / MAIL : 1g@material.pr.jp

担当 : 木村 (090-6195-2686) / 竹中 (080-9813-9775)